

令和7年度 女性が働き続けられる職場環境づくり支援プログラム 講座

～多様な働き方を実現するために～

開催日 2025年9月11(木)

沖縄の子育て・介護のリアルから考える職場の風土づくり

対象：女性活躍や職場環境改善に取り組む企業・事業所の方

仕事と子育て・介護の両立支援が進む一方で、子育てと介護のダブルケア、単身世帯増加、職場の理解不足などの課題が生じていることから、沖縄における子育て・介護の現状を知り、県内の社会課題と多様性について理解を深め、社会全体で沖縄を支えるための支援・取り組みを考える講座を開催。多種多様な業種から49名の方にご参加いただきました。

ソーシャルワーク・精神保健福祉の専門家の名城健二氏を講師に招き、県内の少子高齢化、働き世代の未婚率の高さなどのデータから、サポートが必要な家庭増加の実情を解説し、参加者間で意見交換を行いました。後半は家族の複雑課題を抱える女性事例を基に、必要な支援と就業継続サポートについてグループワークで検討。異業種の多様な視点から活発な議論が展開されました。講師からは「沖縄では子どもも大人も生きづらさを抱えており、企業は制度だけでなく働く人の背景・精神面に思いを寄せ、多様性の理解を深めてほしい」とのメッセージがあり、参加者からは「より多くの人に現状を知ってほしい」との要望が相次ぎました。職場環境整備には多角的アプローチと制度の伝え方・活用支援の重要性を再認識する有意義な機会となりました。

1. プログラム

講師：名城 健二 氏（沖縄大学人文学部 福祉文化学科 教授）

全国と沖縄県の少子高齢化の現状／家族システム論と愛着障害／県内の子ども達を取り巻く生活環境 合理的配慮と多様性の理解／具体例の提示／企業に期待したいこと

2. 参加者の声

- 沖縄の子育て、介護の現状を知ることができて、大変勉強になりました。社内でも育児や介護の問題を抱えている人がいるかもしれないので、会社としてどのようにサポートしていくか、その必要性がとても高くなってるなと感じました。
- 制度はあるものの、従業員の精神面までサポートできているのか考えさせられました。寄り添って話を聞いてあげる環境を作りたい。
- 会社で介護休暇、介護休業ができたばかりです。これから利用者が出てきた際の対応について参考になりました。本人だけでなく家族背景まで把握できるように意識していきます。
- 沖縄の課題に直視できていないのが正直なところでしたが、今回の講座を通して、沖縄の課題は、会社の課題だと認知することができました。少しずつ、社員一人ひとりに寄り添っていけるような制度や仕組みを作り、悩んでいる人を少しでも理解してあげられるように努力していきたいと思えます。

